

漁業後継者育成研修事業

野呂恭成・小笠原大郎

目 的

漁業者の減少と高齢化が進行し漁業後継者も不足していることから、本県水産業の維持・発展を図るため、短期研修(通称「賓陽塾」)を実施し、優れた漁業者を確保・育成する。

研修結果

1. 漁業基礎研修

漁業に就業して間もない人、漁業への就業を希望している人を対象に、基本的な漁業技術・知識習得のため実施した。

(1) 研修期間：2023年8月3日～8月28日のうち9日間

(2) 受講生：受講生数は4名で、出身地内訳は平内町2名、野辺地町1名、横浜町1名であった。

(3) 研修内容

- ・水産知識：「青森県の水産業と水産総合研究所の研究概要」と題し、講義を行った。
- ・漁業技術：各種ロープワーク講習を行った。
- ・視察研修：青森県栽培漁業振興協会、試験船開運丸の視察研修を行った。

2. 資格取得講習

「賓陽塾」受講生のうち、希望者を対象に、漁業へ就業する上で必要な資格取得講習を実施した。

・開催年月日：2023年8月17日～8月31日のうちの4日間

・開催場所：講義は水産総合研究所。実技は青森市内

資格

- ・一級小型船舶操縦士1名、二級小型船舶操縦士3名
- ・受講者数と試験結果：4名が受講し、全員合格した。

3. 出前講座

2024年2月22日に東通村において、漁業者17名を対象にロープワーク講習を行った。

研修実施状況



水産知識(水産総合研究所の概要)



ロープワーク(クロスロープの接合)